

哲學研究

第五百七十五號

平成十五年四月十日發行

志 向 性……………	中畑正志
——現在状況と歴史的背景——(二)	
フランス反省哲学における神の問題……………	杉村靖彦
——ラニョー『神についての講義』をめぐって——	
実践知と意志の弱さ……………	松根伸治
——トマス・アクィナスの無抑制論——	
神の内なる自然……………	浅沼光樹
——シェリング哲学の第二の端緒として——	
彙報	

京都大學文學部内

京都哲學會

京都哲学学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 五、本会は会員組織とし、会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 六、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円(数冊分)を前納する。
- 七、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に参加することができる。
- 八、本会は事務所を京都大学文学部内におく。
- 九、規約の改正は委員会の決定による。

藤福根中中徳出筒田杉佐櫻氣川片苧内内岩伊伊池芦蘆赤
々
田谷立村畑永口井中村木井多添柳阪山井城藤藤田名田松
和 研俊正宗康清紀靖丞芳雅信榮直勝惣見邦和秀定 明
生茂介春志雄夫忠行彦平雄子介一行利七一武行三道宏彦

京都哲学学会委員

御水松寶藤
牧谷田月田
克雅素 正
己彦二誠勝

五 京都大学大学院文学研究科(哲学系) 博士後期課

程学修者氏名——平成十四年三月——

哲学

有働尚紀 久木田水生 三谷尚澄

西洋哲学史

大草輝政 和田利博 小林剛 小川貴史

長田蔵人

日本哲学史

宮野美子

倫理学

奥田太郎 児玉聡

宗教学

三邊マリ子 都路恵子 鶴真一

キリスト教学

小倉和一 大石祐一

美学美術史学

傳江 白適銘 鮎川真由美 松原知生

中国哲学史

東川祥丈

心理学

森下正修 尾関宏文 近藤洋史 小杉大輔

松本淳子

社会学

石原俊 倉島哲 近森高明

カール・カッセゴール 鍋倉聰

科学哲学科学史

井上和子

前号目次

西田哲学における行為的自己とフランス哲学
 における自我と他者……………山形頼洋
 動物の心を探る……………藤田和生
 ——見えないものの認識を通して——
 水とワイン……………川添信介
 ——スコラ哲学者の〈哲学〉——
 身体から魂へ……………瀬口昌久
 ——プラトン『ティマイオス』における
 知覚理論と身心問題——

次号論文予告

宗教は私的な事柄であるか……………氣多雅子
 さいは投げられたのか……………出口康夫
 ——確率論の応用の批判的検討——
 意味論的真理とその病理性……………金田明子
 デリダとレヴィナスにおける
 言語の問題……………関根小織

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区吉田本町京都大学文学部内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一一四〇三九 京都哲学会）宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）をお支払下さい。又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に關する一切は東京都千代田区麹町二一六一七創文社（振替口座〇〇一二〇一〇一九二四七二）宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編輯事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

京 都 哲 学 会

千六〇六一八五〇一
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内
〇七五七五三二七三三

平成十五年 四月五日 印刷
平成十五年 四月十日 発行

編輯兼 京 都 大 学 文 学 部 内
發行人 京 都 哲 学 会

編輯委員 内 山 勝 利
代 表 片 柳 榮 一
赤 井 惣 七

内 山 勝 利
片 柳 榮 一
赤 井 惣 七

發 売 所 株 式 創 文 社

久 保 井 浩 俊

印 刷 所 千 一 〇 二 一 〇 〇 八 三
あ か つ き B P 株 式 会 社
東 京 都 千 代 田 区 麹 町 二 一 六 一 七
電 話 〇 三 一 三 二 六 三 一 七 一 〇 一
振 替 〇 〇 一 二 〇 一 〇 九 二 四 七 二

註 文 規 定

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料七
三円）前金にてお送り下さい。

平成十五年四月五日印刷
平成十五年四月十日發行

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 575

April

2003

Articles

Intentionality in a Historical Perspective (Part II)

..... Masashi NAKAHATA

Le problème de Dieu dans la philosophie réflexive française

—sur le *«Cours sur Dieu»* de Jules Lagneau—

..... Yasuhiko SUGIMURA

Thomas Aquinas on Incontinence

—*Practical Knowledge and Weakness of the Will*—

..... Shinji MATSUNE

Natur in Gott

—*Schellings Denkweg von Darstellung meines Systems*

der Philosophie (1801) *zur Freiheitsschrift* (1809) —

..... Kouki ASANUMA

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

I S S N 0 3 8 6 — 9 5 6 3

雑誌コード 06427-4 特別定価 本体 2,500 円 + 税